

事業計画書

令和 3年6月7日

団体名	一般財団法人 こうほく区民施設協会		
代表者	飯山 精三	団体設立年月日	平成 23 年 7 月 6 日
団体所在地	横浜市港北区菊名 6-18-10		
連絡先	Tel 045-435-2651 Fax 045-434-6402		
現在運営している施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
日吉地区センター	地区センター	横浜市 港北区	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
新田地区センター	地区センター	同上	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
菊名地区センター	地区センター	同上	始 至 H8年4月1日 R4年3月31日
綱島地区センター	地区センター	同上	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
綱島公園こどもログハウス	ログハウス	同上	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
師岡コミュニティハウス	コミュニティハウス	同上	始 至 H20年4月1日 R4年3月31日
菊名コミュニティハウス	コミュニティハウス	同上	始 至 H20年4月1日 R4年3月31日
下田小学校コミュニティスクール	学校併設型コミュニティスクール	同上	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
日吉台中学校コミュニティスクール	学校併設型コミュニティスクール	同上	始 至 H7年4月1日 R4年3月31日
大綱中学校コミュニティハウス	学校併設型コミュニティハウス	同上	始 至 H8年4月1日 R4年3月31日
小机スポーツ会館		同上	始 至 H8年4月1日 R4年3月31日
<p>当協会の前身である「港北区区民利用施設協会」は平成7年4月に設立されました。当時すでに開館されていた日吉・新田・綱島の各地区センターの他、下田小及び日吉台中に併設されているコミュニティスクール、綱島公園こどもログハウス及び小机スポーツ会館の計7施設の運営を行っていました。その後、指定管理者制度による指定を受け、運営する施設を増やし、現在は11施設を運営しています。</p>			

1 団体の状況

(1) 団体の理念・基本方針・財務状況等

団体の理念

区民利用施設の管理運営と地域住民の自主的活動の支援等を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域社会の実現に寄与すること。

基本方針

1. 地域ニーズに応え、時代の要請に即した事業を通じて、満足感と親しみある施設運営を実現する。
2. 研鑽に努めサービスの向上を追求し、その成果を確実にお客様にお届けする。
3. コスト意識を持ち、最少の経費で最良のサービスをお客様に提供する。

綱島公園ログハウス指定管理業務の位置づけ

1. 綱島公園こどもログハウスは、平成元年3月に開館し、32年間が経過しました。当協会は平成17年7月から3期にわたって指定管理を受託し、施設の設置目的に沿った適切な管理運営に努めてまいりました。
2. 綱島地区は地域活動が非常に活発な地域であり、綱島公園こどもログハウスは近接する綱島地区センターとともに、これらの活動拠点として「地域と連携、協働」し、「地域に愛され、必要とされる施設」となるよう様々な事業の展開とサービスの向上、施設の良好・快適な管理に鋭意努めてまいりました。
3. 今後もこれらの実績をもとに、適切な施設運営に取り組むとともに、地域住民、各種団体等との連携を更に強化し、魅力的な事業の展開とサービスの向上に努め、地域の方々の期待に応えてまいります。また、コロナ禍にあっても安全に安心して施設を利用いただけるよう注力してまいります。
4. また、近接の綱島地区センターと一体的な管理・運営を行うことで、効率的、効果的な管理を行います。

財務状況等（令和2年度決算）

収入	253,967,572 円	
	委託料	235,576,292 円
	利用料収入	9,597,900 円
	事業収入	604,900 円
	雑収入	4,137,480 円
	支援・負担金	4,051,000 円
支出	249,478,519 円	
	人件費	151,011,774 円
	事務費	16,628,879 円
	事業費	1,287,567 円
	ニーズ対応費	4,851,901 円
	管理費 他	60,530,106 円
	公租公課	15,168,292 円
差引	4,489,053 円	
財産目録		
	流動資産	67,122,045 円
	流動負債	17,512,376 円
	正味財産	49,609,669 円

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

1 団体の状況

(2) 応募理由

1. こうほく区民施設協会の思い

綱島公園は港北土木事務所が管理しておりますが、地方自治法が改正され指定管理者制度が成立してから、綱島公園こどもログハウスは指定管理制度の対象となりました。こうほく区民施設協会は平成17年から16年間(3期分)綱島地区センターと綱島公園こどもログハウスを管理運営し、施設の設置目的を実現するとともに適正な運営に注力してまいりました。当協会は、兼務する綱島地区センターの館長・副館長及びログスタッフの優れた意欲経験とこれまでの実績を活かし、これまで以上に子どもたちや保護者の皆さまに喜ばれる安全な施設として運営を続けたく応募いたします。

2. スタッフの意欲

現在のスタッフは、綱島公園こどもログハウスから概ね直線距離3km以内に居住し、本人が子どものころ綱島公園や本ログハウスで遊んだり、子育て時代には自分の子どもを遊ばせた記憶があります。こうした思い出と経験から湧き出るスタッフ各々のログハウス運営に掛ける思いこそが、当協会が運営継続に応募する決意を支える原動力です。



【コロナ禍でのご利用案内・定員管理中のスタッフ】

3. 研修・実践・法令順守

こうしたスタッフの思い・意欲を施設の適切な管理運営に繋げるため、当協会は多くの教育・研修機会を提供し、運営の質の確保・向上を目指します。

緊急時対応・災害時対応・個人情報保護等の法令順守研修を行う一方、日々の管理運営の実践の場においては、館長・副館長と報連相を緊密に行い、危険察知能力を働かせ、危険な個所を発見し、ご利用者の危ない行動を抑止するべく適切に注意喚起や対応策を執ります。

4. 使用料金が無料で安全な施設を保持

綱島公園は横浜市の公園条例で規定する公園で、無料で遊べる空間です。近隣の大型商業施設では有料の乳幼児を遊ばせるコーナーも増えておりますが、横浜市内の各区に1か所設置されたこどもログハウスは利用料金を取りません。当協会は、貴重な指定管理料を原資に、綱島公園内で、子ども達が身近なところで木のぬくもりを感じ自由に集い遊ぶことのできる新たな魅力空間としての屋内施設で、こども同士の心のふれあいや創造力、表現力の向上を図る場となるよう、安全で楽しい施設運営を行います。



【コロナ禍の立ち入り禁止区域も楽しく飾り付け】

(3/15) ※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

2 職員配置・育成

(※職員の確保、配置計画、育成・研修計画について)

1. 職員の配置

本ログハウスの館長・副館長は、網島地区センターの館長 1 人、副館長 2 名と兼務させ業務を遂行します。一方、スタッフは本ログハウスに専任勤務し総勢 10 人です。午前 2 人、午後 2 人でローテーションを組みます。地域の行事やイベントなど繁忙期には、勤務態勢を厚くし、網島地区センターのスタッフにも応援を仰ぐなど、適切に連携・応援体制をとり運営します。

職種	種別	勤務形態	役割
館長 [網島地区センター兼務]	常勤	早番・遅番のローテーション勤務 [網島地区センター勤務体系と同じ]	管理運営の総括責任者、防火管理者
副館長 [網島地区センター兼務]	常勤		館長の補佐、庶務、経理、スタッフの指導、その他全般
スタッフ	パート	午前 9:00～13:15【4月～9月】 (9:00～12:45【10月～3月】) 午後 13:15～17:30【4月～9月】 (12:45～17:00【10月～3月】)	受付、案内、物品貸出、整理整頓など

2. 職員の育成

こうほく区民施設協会事務局長が年に数回（1回目：期首、2回目以降：随時）現地を訪問し全員のスタッフに対し、最新のマニュアルを用いて業務内容、注意点、非常時対応、災害時対応について説明をします。また、館長は、毎月 1 回開催されるスタッフ会議で、施設安全運営上の注意点、個人情報保護等の教育を行います。館長・両副館長は毎月 2 回(月初・月半)および随時本ログハウスを訪れ、状況把握を行いスタッフから報告・連絡・相談を受けます。

3. 研修体系

職場研修（OJT）として、基本的に次のような研修を取り入れます。

全職員	防災訓練	消防署の指導の下で、AED 研修、消防訓練、避難誘導、救急対応訓練など	年 1 回	
館長	館長会	人権研修、他施設と情報の共有・意見交換など	年 10 回	
副館長	副館長会	人権研修、他施設と情報の共有・意見交換など	年 6 回	
スタッフ	全員	スタッフ会議	施設別集合研修（防災・人権・事例検証他）	年 12 回
	各自	館長面談	各個人の課題の検証・フォローアップ	年 1 回
	新採用時研修	協会研修	協会全体、人権、接遇、業務の基本など	3 月 1 回
		施設研修	実務を中心に研修	3 月 数日
人	接遇対応研修（協会研修）	フォローアップ研修、接遇対応、人権など	9 月 1 回	

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営

(1) 施設及び設備の維持保全並びに管理

安全保持・快適な環境維持及び施設寿命の延命の観点から施設の維持管理に努めます。施設にはライフサイクルがあり、適時に適切な保守管理が必要です。建物の構造（躯体、外壁、屋根等）に従って瑕疵担保期間満了時の請負業者による瑕疵修補は、市の所管するところですが、適切な保全による施設寿命の延命及び早期の瑕疵発見による対応により事故防止に役立て、また施設の延命を図ります。そのため、計画的なチェック体制とライフサイクル管理（改修・改良・オーバーホール等）を欠かしません。

施設・設備機器の適正なチェック体制の確立

(専門業者)

1. 専門業者による点検

—地域経済への波及効果を狙う地元業者への優先的委託—

仕様書に準じて作成する保守管理計画に基づいて、専門の保守管理業者に委託します。指摘事項については、緊急度の高いものから速やかに対応します。

建物等	消防用設備点検	年2回（6・12月）
	機械警備点検	常時
清掃等	床清掃	毎月1回
	全館ガラス清掃	年4回（5.8.11.2月）
	害虫駆除	年2回（6・12月）



(職員・スタッフ)

2. 職員・スタッフによる適時・適切な点検

毎月チェックリストを用いて巡回を実行します。

外注の保守管理業者の点検は定期（年1～2回）のため、

管理者による適時・適切なチェックが必要です。

施設や設備機器の異常を早期に発見し、対応することにより、

事故防止や損傷の拡大につながらない適時適切な点検に努めます。

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営 (2) 小破修繕への取組

1. ログハウスは1989年(平成元年)、木造地上2階、地下1階建てとして横浜市内の各区1つの市営ログハウスとして竣工しました。大規模修繕工事を2011年度、2017年度(2018年3月完成)と2度実施して、施設の劣化を防ぐとともに、新しい時代の流れに沿った設備改善(トイレの洋式化、男性トイレにおむつ交換台の設置など)をおこないました。

2. ログハウスの修繕の基本

早期発見・速やかな報告

判断①(館長・副館長)
緊急性・安全性・利用者に不便を強いるか?

判断②(館長)
指定管理者対応可能の是非

小破修繕の場合

- ① 緊急性が高いもの
直ちに業者を手配し、最優先で修繕をおこないます。
※分野ごとに対応可能な複数の業者リストを用意しておきます。
- ② 緊急性は高くないが、利用者に不便をかけるもの
早急に業者数社より見積もりをとり、早く、安価で、内容の優れた見積業者に依頼します。
- ③ 利用者には関係なく、安全性にも問題のないもの
経過を見、同じ分野の修繕をあわせて発注するなど、効率を重視した修繕をおこないます。

※いたみの激しい遊具は、修繕と新規遊具への買い替えを組み合わせて、効率的に対応します。

※業務仕様書にある1件20万円までは、当協会に対応しますが、さらに高額の際は、区へ報告し、対応をお願いすることになります。



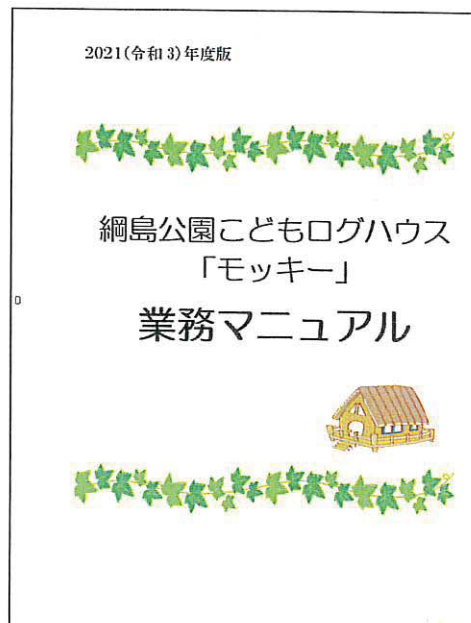
【2021年5月外廊下(テラス)踏み抜け事案：市区役所とご相談し継続対応中】

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営 (3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応

1. 具体策

- ① 緊急時対応マニュアルにより、緊急時に備えます。
- ② 緊急時の連絡網を定め、施設職員、協会、機械警備会社間での緊急時の通報連絡に備えるとともに、区役所、警察、消防等の関係機関に迅速に報告し、通報できるように備えます。
- ③ 事故を未然に防ぐため、事故防止チェックリストにより点検するとともに、事故防止研修を行います。
- ④ こどもログハウスの防災計画に沿った防災訓練・避難訓練を実施します。
- ⑤ AED 器〔自動体外式除細動器〕（大人用・子ども用）を設置し、その使用法も含め救命救急講習を実施します。
- ⑥ 万一の場合に速やかに対処できるよう、「救命、応急手当の手引き」及び「危機管理マニュアル」を窓口に設置します。
- ⑦ 窓口、事務室、地下室、外廊下に防犯カメラのモニターを設置し、異常を即座に把握できるようにします。
- ⑧ 館内に緊急時の避難経路を掲示します。



2. 緊急時の即応体制

事務局長及び館長が甲種防火管理者免許を取得しており、近隣在住スタッフとの連携により緊急時の即応体制、閉館時の「万が一」に備えます。

緊急時の鉄則

- ① 空振りは許されるが、見逃しは許されない→最悪の事態を想定して行動し、不作為を戒める。
- ② 「一日も早く」ではなく、「一刻も早く」対処する→緊急時の対処は、時間との闘いである。
- ③ 報連相（報告・連絡・相談）の励行→緊急時には聞いていないとか、相談せずに独断で行動するようなことがあってはならない。
- ④ 組織としての判断→一人の判断より「集合知」（複数人の判断の優先）によります。



※A 4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営

(4) 防災に対する取組

1. 横浜市役所総務局防災マニュアルに従う

同マニュアルには避難場所は小学校と規定されていますが、近隣の小学校は洪水時には不適合の想定があります。洪水時には2階以上の高い場所に避難しますが、適当な場所がない時は高台にある綱島地区センターや綱島公園、同こどもログハウスにあがります。綱島地区センターは、帰宅困難者一時滞在施設・自主避難場所として約300名の飲料、食事等備蓄しているため、綱島地区センターに行ってくださいよう指示されることがあります。

2. 危険の想定

綱島公園こどもログハウス周辺の地理的状況は次のとおり。

・ 海拔	綱島駅・商店街	10m
	綱島地区センター	16m
	綱島公園	20m

次のような事態を想定し、対処行動の認識共有・訓練を実施します。

- ① 巨大地震
東京湾内でマグニチュード9以上の巨大地震が起こったときは津波も想定されます。津波は鶴見川を遡上すること、河口のコンビナートが破壊され津波で低地域に火災物が流されることも考えられます。
- ② 大規模火災
火災の延焼は風向きに左右されますが、公園が風下に当たるときは類焼の可能性が高くなります。本ログハウスには綱島駅に向かうルート、北西側に通ずる北西ルート、綱島地区センターに向かう西ルートがありますので、消防署の判断または、行政・地区センターの指示により子どもたちを避難させます。
- ③ 大型台風
台風の規模・進路予想に関する情報収集を行い、状況悪化の前に子ども達に安全な帰宅を促す。安全確保が確信できない場合は、スタッフが現地で待機し、保護者に連絡を取り、迎えに来ていただくよう依頼します。
- ④ 雷・線状降水帯
綱島エリア上に積乱雲・同群が発達し、突然の雷・大雨・集中豪雨が続く、本ログハウス内に子ども達を取り残される可能性があります。上記の大型台風の場合と同様の対応をとります。

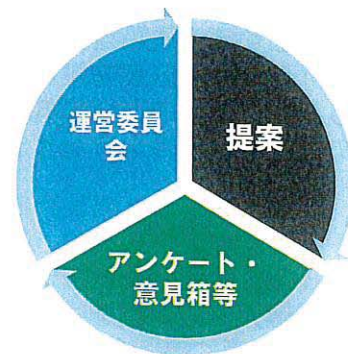
※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営 (5) 利用者のニーズ・要望・苦情への対応

1. 利用者のニーズの把握

①運営委員会

運営委員会では「地域のみなさんの声」を聞くことに重点を置き、自由闊達なご意見・ご提案を伺い、単にそれをそのまま実施するのではなく、スタッフミーティングで十分検討し、吟味したうえで、最良・最善の形で運営に反映させます。本ログハウス運営委員会は地元自治会町内会長、子供会、スポーツ推進委員、青少年指導員、公園愛護会、近隣小学校、PTA の各代表から組織されており、施設運営にかかわる各種課題を審議し、より地域に密着し、親しまれる円滑な運営を図ります。



②提案

運営委員会や利用者アンケートでいただいたご意見・ご提案を活かした(イベントや新たな遊具の購入等の)提案をします。コロナ禍では感染拡大防止の観点にも十分配慮します。アンケートなどで単に声を聞くだけの「受け身のニーズ把握」だけでなく、一歩前に出て積極的に提案をすることで「ニーズの掘り起こし」をしていきます。

③アンケート・意見箱等(窓口等での日常の聞き取りも含みます。)

施設内ご意見箱の設置、コロナ禍での諸制約が緩和された場合は、イベントでのアンケート(児童生徒からは聞き取りによる)などにより、きめ細かくお客様の声を集めて、ニーズの把握と振り返りに活用し、スタッフミーティングで確認し、検討し、そのうえで、最良・最善の形で運営に反映させます。

2. ご要望・苦情への対応

①「声のたより」ポスト(ご意見箱)設置:

内容を吟味し、対応を館内で協議し、回答を館内に掲示します。

②お客様アンケート:

何か課題が生じたときや新たな提案をするときなどに実施します。結果を館内に掲示します。

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

3 こどもログハウスの管理運営

(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

1. 個人情報保護体制

「こうほく区民施設協会の保有する個人情報の保護に関する規程」(制定 平成24年3月23日)及び「こうほく区民施設協会個人情報保護に関する方針」において、個人情報保護を協会の責務とし、個人情報の必要最低限の収集、目的外利用・提供の禁止、適正管理義務等を定め、この方針のもとに以下のような体制並びに研修を行っています。

- ① 施設にあつては館長を個人情報管理責任者とし、日常の管理の徹底及び職員へ研修を実施しています。
 - ・「個人情報保護取扱いの注意」の文書等により新規採用職員に研修を実施。
 - ・「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適宜職場で点検し、職員への研修を実施。
 - ・新聞等に掲載される個人情報漏えい事案に関する記事等を教材に適宜研修・啓発の実施。
- ② 規定に基づき「個人情報を取り扱う事務の目録」を作成し、把握。
- ③ 個人情報保護方針を館内掲示し、同方針をこうほく区民施設協会 HP にも掲載。
- ④ 不要となった個人情報の廃棄はシュレッダーによる。また、磁気データの管理の徹底指導。
- ⑤ 情報公開については横浜市条例に準じ、情報開示・説明責任を果たしてまいります。また、HP を活用し情報の提示も継続。

2. 人権尊重

職員・スタッフ一同、人権研修を年1回必ず受講する。

3. 環境への配慮

- ① 自主事業において緑化事業を継続的に計画し、綱島公園側の外廊下(テラス)側面において、アサガオ、フウセンカズラ、ホップ等の蔓植物をプランターに定植し、緑のカーテンを作ります。子どもたちは緑化啓発や直射日光を遮ることで温暖化防止の実践に触れてもらう機会とします。この緑のカーテンは、地域緑化のつながりプロジェクトの一環として、公園の緑化を図る事業でもあります。
- ② また、綱島地区センターと連携・協働し、事業系廃棄物の低減・分別・ルート回収に注力してまいります。
- ③ これらを通じて、横浜市環境創造局のみどりアップ計画、および、ヨコハマ3R 夢プランにも積極的に貢献します。



【緑のカーテン育成中】



【ヨコハマ 3R 夢マスコット：イーオ】

4. 市内中小企業への優先発注

本提案書 3(1)施設及び設備の維持保全並びに管理で述べた通り、市内中小企業への優先発注を継続します。



【感謝を込めて2021年2月に参加】

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施

(1) 事業計画、事業展開

綱島公園こどもログハウスの設置目的「こども達が身近なところで木のぬくもりを感じ自由に集い遊ぶことのできる新たな魅力空間としての屋内施設を公園内に設置し、こども同士の心のふれあいや創造力、表現力の向上を図る場」であることを踏まえ、次のような自主事業を実施します。それらの事業は季節感に溢れる手作りの飾り付けでログハウス館内の空間を味わい、創造力や表現力を磨きながら、仲間同士の友情を育み、写真撮影や思い出を作ることが共通した特徴です。

事業名	実施時期	内容	
七夕まつり	6月下旬～ 7月上旬	地元の方から竹を譲り受けモッキー内に設置し、スタッフが用意した短冊に、来館した子供たちが願い事を書き竹に飾り付ける。色とりどりの吹流しを用いた天の川を楽しみながら、スタッフ手製の折り紙細工を土産にもらい、伝統行事を体験する機会となる。	
秋まつり	9月～ 10月	この時期に相応しいハロウインの飾り付けを館内に施し、大型カボチャの模型も受付に設置する。	
クリスマス会	12月	館内でクリスマスの季節感を味わっていただくため、クリスマスツリー、タオルケーキ、雪の結晶、雪だるまやポインセチアの紙製飾りを手作りし飾り付け、クリスマスソングを流す。	
豆まき	2月	家庭ではあまり行われなくなった伝統行事の豆まきの雰囲気を受けて頂くため、鬼・福豆・お面・恵方巻などの紙製オブジェを手作りで作成し、館内に飾り付ける。	

(11/15) ※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施 (2) 施設の利用促進

次の5つを柱に、一層の利用促進を図ります。

1. 安全で気軽に安心して立ち寄れる居場所の実現

施設（建物・遊具）の物理的な安全、コロナ禍での感染拡大防止策の徹底、未就学児と小中学生の物理的衝突回避のため来館時間帯の分離誘導を推し進め、安全・安心を確保したうえで、魅力ある空間を実現します。

2. 魅力ある自主事業の展開

前項4(1)で述べた季節感に溢れる手作りの飾り付けでログハウス館内の空間を味わい、創造力や表現力を磨きながら、仲間同士の友情を育み、写真撮影や思い出を作ることが共通した特徴の自主事業を行い、モッキーファンを増やし、リピーター獲得に繋がります。

3. 地域との連携・協働事業の取組

後記4(4)で述べる地域諸団体との連携・協働による共催事業に積極的に取組み、地域活動の維持・活性化、地域活動の担い手の発掘・確保、地域住民のつながりづくり・地域コミュニティの醸成に益々貢献することで、単独では届かない地域の皆さまに本ログハウスの魅力をアピールします。

4. 積極的な広報活動

本ログハウス「モッキー」の利用に関するお願い・注意事項や、季節行事の実施報告など、地域の小学生や保護者の方々にモッキーを常に身近に感じ利用頂くことを目的に施設だより「モッキーだより」を発行します。地域の自治会町内会の協力を得て各世帯に回覧頂き、また港北区内の全小学校に送付します。また、施設内の掲示物やホームページなども積極的に活用し鮮度の高い情報発信をします。

5. 利用者満足度の向上

近隣小学校の校長やPTA会長もメンバーとする運営委員会を始め、各種アンケート、直接のヒアリング及び御意見箱などを活用し、幅広く利用者ニーズの把握に努め、運営に反映させます。苦情要望に対しても誠実に対応しています。

*利用者数実績

年度	利用者数
平成30年度	68,463人
令和元年度	58,811人
令和2年度	18,396人



【コロナ禍で常時換気とソーシャルディスタンス確保】

令和3年6月発行 第53号

親鳥公園こどもログハウス「モッキー」
住所：横浜市港北区親鳥1番地
TEL: 045-547-4556
URL: <https://www.kochikou-kikou.jp/hour/>
休館日：第3月曜日（祝日の場合は翌日）毎家毎地
開館時間 4~9月 9:00~17:30
10~3月 9:00~16:30
指定管理者 一般財団法人こども未来国際協会

こどもログハウスについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々なご利用制限を設けていただいております。ご利用は、朝入館制とし、定員は20名（大人含む）、園庭・グラウンドのご利用受付は行いません。入館の際は、感染確認と消毒作業を行うため、夜のご利用まで30分お時間をいただきます。また、一部ご利用いただけない施設があります（地下迷宮、園庭コア、見参り台）。遊具（マット、ボール等）の貸出しも、見合わせています。当ログハウス主催の行事も開催予定ですが、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。
ネットワークは名称特化のため撤去しました。
※施設の安全管理上、部屋の隅、外廊下・観音への立ち入りはできません。

低コスト・フランクのご挨拶

いつも遊びに来てくれてありがとうございます。みなさんが笑顔に戻れるよう頑張ります。みなさんが安心して定食室にお泊るスペースに繋がって行きたいと思っております。

ご利用時間（4月~9月）

- ◎ 9:30~10:30 [9:00]
- ◎ 11:00~12:30 [10:00]
- ◎ 12:30~13:30 [11:30]
- ◎ 14:00~15:15 [13:00]
- ◎ 15:45~17:00 [14:45]

※日（1）の時刻は各団体の予約を優先します

お呼び出しのこと

- ・入館時に消毒液を手洗いで。
- ・ご利用料を置く。
- ・ご利用料はスタッフに手渡す。
- ・お泊り料は、お泊るスペースへお渡し。
- ・お泊り料を置いて、お泊りください。

ネットワークエリアに接続してご利用いただけます。

【「モッキーだより」令和3年6月号】

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施

(3) 地域課題の理解及び、課題を踏まえた事業提案

1. 地域の特性および課題

港北区は、横浜市の北部に位置し、人口、世帯数とも、市内第1位の規模となっています。交通の利便性が高いことから、東京都心部のベッドタウンであると同時に、新横浜周辺の商業施設や大学が立地するなど、通勤通学地の側面も併せもっています。

これらの地勢などの特徴から、人口の転出入が活発で、子どもや子育て世代が多く、人口が増え続けている区です。また、住民主体の地域活動が活発に行われています。しかし、世帯規模の縮小や近隣との関係の希薄化により、個人や家族だけでは解決できない問題がふえています。特に、こどもログハウスが立地する綱島地区は、近年、世帯数・人口の伸びが著しい地域です。現在、東横・相鉄直通線の「新綱島駅」の整備が着々と進められております。ますます発展する要素があります。

2. 課題を踏まえた事業提案

① 居場所提供型の自主事業の充実

子育て世代の親子が、いつでも気軽に立ち寄って、本ログハウスの魅力を実感しながら、季節感溢れる館内の飾り付けも堪能できる居場所を提供し、子育てを支援します。

② こども達が安心して自由に遊べる環境づくり

未就学児と小・中学生の利用時間帯の棲み分けを積極的に誘導するなどにより、異年齢の子ども達の衝突事故などの防止を図ります。

③ 未就学児から小学生まで幅広い年齢が楽しめる自主事業の実施

子どもたち個々人の年齢に応じて、季節感に溢れる手作りの飾り付けでログハウス館内の空間を味わい、創造力や表現力を磨きながら、仲間同士の友情を育み、写真撮影や思い出を作ることができる事業を実施するなかで、サンタクロース（クリスマス会）、赤鬼・青鬼（豆まき）などがサプライズ・ゲストで登場し、魅力度をアップします。

④ 共催事業への積極的な取組

次項 4(4)で述べるような地域諸団体との連携・協働による共催事業に積極的に取組み、地域活動の維持・活性化、地域活動の担い手の発掘・確保、地域住民のつながりづくり・地域コミュニティの醸成に益々貢献します。



【お化け大会の受付を行う地域の子ども会の皆さま】




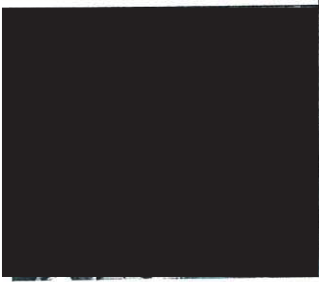
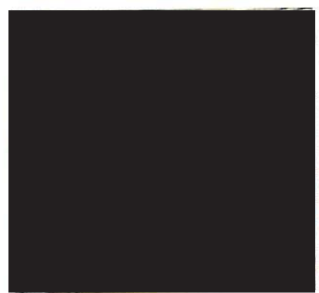
【区制 80 周年記念事業：七夕まつりの飾り付け】

※ A 4 版 1 枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

4 事業の企画・実施
 (4) 関係機関及び地域団体との連携

1. 共催事業の実施

地域の諸団体と連携・協働し、次のような共催事業を実施します。

事業名	実施時期	主催	内容
緑化事業	5～10月	本ログハウス	網島公園側の外廊下（テラス）側面において、アサガオ、フウセンカズラ、ホップ等の蔓植物をプランターに定植し、緑のカーテンを作る。子どもたちは緑化啓発や直射日光を遮ることで温暖化防止の実践に触れてもらう機会となる。また、この事業は、地域緑化団体フローラルつなしまの「つなつなプロジェクト」の一環であり、網島公園愛護会や公園内花壇の世話をするボランティア団体「網島パークガーデン」との協働事業でもある。
桜まつり	3～4月	網島地区連合自治会・地区社協・商店街連合会・同協同組合	毎年恒例の網島公園での桜まつり。抽選会、野点、もぎ店、芸能大会、福祉バザー等のイベントが開催される。モッキーの舞台が演壇となり、館内も一部楽屋となる。また、開館時の来館者は平常の約4倍(800人強)になり、スタッフを増員して対応する。コロナ禍で延期継続中。 
お化け大会	8月	お化け大会実行委員会	網島・大曾根・樽町地区の小学生を対象に、網島地区センターでの交流行事と近隣・網島公園・モッキーを経路に肝試しを行う大型イベント。【参加人数 約250人】モッキーは、スタッフが変装したお化け屋敷になる。3地区連合自治町内会・スポ推・青指・子ども会の方々の運営協力により既に12回開催済み。コロナ禍で延期継続中。 
ゼロ歳児教室・幼児教室	10月	網島地区センター	乳幼児と保護者対象の教室（各全5回）において、紅葉の綺麗な時期に網島公園にお散歩・ピクニックに出かけ、本ログハウスに立ち寄る。休憩を兼ねてモッキーの魅力を体感し、将来の利用を楽しみにして頂く。 

また、小学生を対象とする事業では、近隣小学校（網島小学校・網島東小学校・北網島小学校・北網島特別支援学校）の行事日程も勘案し、子どもたちが参加しやすい日程を設定します。

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

5 収支計画及び指定管理料

(1) 指定管理料の額

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

(1) 指定管理料の額

ログハウスは基本的に当協会が受託している学校併設型施設と同様に、現在収入は委託料（指定管理料）と雑収入（自販機2台）のみとなっており、入場収入はありません。

支出面では、網島地区センターと連携・協働し、事業系廃棄物の低減・分別・ルート回収、消耗品の共同購入、保守契約の包括締結など、協会のスケールメリットを活かしながら、高いコスト意識で管理運営に努め、予算内執行を目指してまいります。協会の経理は税理士法人による徹底的な巡回監査を受けており、その適正さにおいて問題はありません。

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

施設を安全に運営していくために必要なスタッフの人件費が、指定管理料の約75%を占めます。残りの25%を館内の定期清掃や機械警備、修繕などの管理費、自主事業費及び事務費に配分しています。

このような状況の中にあっても、特に緊急的な対応が求められる小破修繕については、子ども達の安全確保の観点から、可能な限り早急な修繕を心がけています。



【舞台(ステージ)土台部分の小破修繕】



【スタッフ会議で安全対策、コロナ対応に関する打合せの様子】

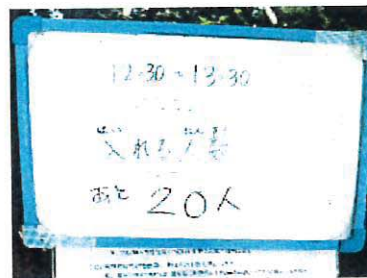
※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

6 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に係る対応

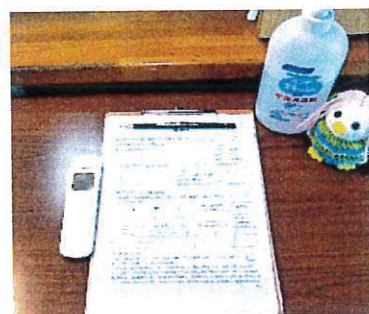
従来の実績を基に、次のような取組・工夫を継続して行います。さらに、今後の新型コロナウイルス感染症の状況、拡大防止に係る科学的知見、市・区の関連方針を踏まえ、適切な対応を図るため見直しを継続します。

1. 施設運営上の取組・工夫

- ① 入場定員の制限を継続する。
- ② 施設の利用に時間入替制を導入し、消毒・換気時間を確保する。
- ③ 来館者の連絡先を把握するため、「ご利用票」を活用する。
- ④ 入替時間に入口付近で密集が起きないように、入口の外に予約表を置き、定員管理を容易にする。
- ⑤ 施設内で換気の悪い箇所や密集が起きやすい箇所は（地下迷路・図書コーナー・つみきのへや・トンネル・見張り台）を立ち入り禁止とする。
- ⑥ 館内での遊具（マット・ボール等）貸出を制限する。
- ⑦ 徹底した換気、共用部分・高頻度接触部位・不特定多数の接触場所の重点的な消毒を実施する。
- ⑧ 来館する子どもたちが入口付近で密集するのを避けるため、個人用の大型荷物バスケットを用意し迅速な入替を促す。
- ⑨ ご利用者に向け、感染状況により変更される開館時間・利用条件等について、感染拡大防止に係るお願い事項・正確な情報の確認・人権侵害の防止と併せ、館内掲示・ホームページ掲載を適切に実施する。
- ⑩ 乳幼児のマスク着用については、厚生労働省の見解を引用し、明確な基準で運用する。



【空き状況の掲示板】



【ご利用票】

2. 事業（自主事業やイベント）運営上の取組・工夫

- ① 上記の施設運営の枠組みの中で、従来型の大勢の皆さまに入館・参加頂くようなイベントの実施は見合わせ、替わりに季節感を感じられるような館内の飾り付けをモッキーのスタッフが施し、数週間に亘り来館者に楽しい雰囲気味わっていただき、写真撮影スポットを提供する。
- ② 従来ゲーム・景品に軸足を置いていた秋まつり等のイベントは、内容を多彩な飾り付けを活かせるイベント（ハロウィン等）に変更し、来館者に新鮮で楽しい驚きも提供する。
- ③ モッキーでの飾りつけ実施の時期に同期して、綱島地区センターでもロビー等に呼応する飾り付けを行い、併せて、モッキー・地区センターの施設だよりの両施設合併号を発行するなどコロナ禍での工夫した連携をアピールする。
- ④ 施設の入館制限に係わらない緑化事業では、綱島地区センター、同ガーデニングクラブ、地域緑化に携わる皆さまと連携・協働し、本ログハウス公園側の舞台横に蔓植物による緑のカーテンの植栽・育成に取組み人づくり・まちづくりに貢献する。



【受付の様子：ビニールカーテン、手指消毒】



【入替時間に個人用大型荷物バスケットを消毒】

※A4版1枚以内でまとめるよう、お願いいたします。

団体名・共同事業体名	一般財団法人こうほく区民施設協会
施設名	横浜市綱島公園こどもログハウス

横浜市綱島公園こどもログハウス 指定管理料提案書及び収支予算書

I 指定管理料提案書

提案額(a) (※消費税及び地方消費税を含む)	9,315,000	円
※区指定上限額(b)	9,409,000	円
差引(a)-(b)	-94,000	円
削減率(1-(a)/(b))×100	1	%

指定管理料＝小計【イ】を記入
※ 区指定上限額(b)の範囲内で提案してください。

II 収支予算書

1 収入の部

項目	合計金額(単位:円)	備考 (内容等)
自主事業収入[A]	0	
雑入[B]	380,000	
小計【ア】([A]~[B])	380,000	施設運営収入の計
指定管理料	9,315,000	【ウ】-【ア】
小計【イ】	9,315,000	指定管理料の計
収入合計(【ア】+【イ】)	9,695,000	

2 支出の部

項目	合計金額(単位:円)	備考 (内容等)		
人件費(賃金水準スライド対象) ア	6,850,000			
人件費(賃金水準スライド対象外) イ	0			
事務費 (消耗品、備品費、通信運搬費、機器リース料 等)	ウ	600,000		
事業費 (税費、原材料費、書籍購入費 等)	エ	130,000		
管理費 (定期清掃、警備委託費、その他各種委託費 等)	修繕費	オ	250,000	
	定期清掃	カ	300,000	
	機械警備	キ	230,000	
	設備点検保守	ク	20,000	消防設備保守
	衛生管理	ケ	15,000	害虫駆除
	浄化槽保守	コ	0	
	サ			
公租公課 (消費税、事業所税)	シ	550,000		
事務経費 (労務、経理、契約等)	ス	750,000		
支出合計【ウ】(ア～ス)	9,695,000			

※ 金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

※ 項目は必要に応じて増減してください。